



第23回

詳しく質問しよう!

～ what を使って詳しく質問～

学習のポイント

- what を使って詳しく質問できる
- how を使って詳しく質問できる

英語監修・執筆 鳥飼慎一郎

■コミュニケーション

what はそれが何であるのかを質問するときに使うことは既に学習しました。目の前にある物が何だかわからないときは、

What is this? (これは何ですか?)

と質問すればいいのです。相手が何が好きなのかを質問するときには、

What do you like? (何が好きですか?)

と質問すればいいのです。同じことがwhenを使った質問の文にも言えます。

集合時間を聞くときには、

When do I have to come? (いつ来ればいいのですか?)

と質問すればいいのですが、これらの表現はどれも一般的で厳密ではありません。もう少し詳しく聞きたいときには、whatの後に詳しい内容を表す語を付けて質問するとうまく話が進みます。

たとえば、同じ好きな物でも、食べ物についてのみ聞きたいときには、

What kind of food do you like? (どのような食べ物が好きですか?)

と質問すると、食べ物の好みに限って質問することができます。映画の好みを質問したいのであれば、

What kind of movie do you like? (どのような映画が好きですか?)

と質問すればいいのです。このWhat kind of...?は、What sort of...? といっても同じような意味になります。相手がどのような色が好きなのかを質問するときには、さらに単刀直入に、

What color do you like? (どの色が好きですか?)

と質問すればいいでしょう。

この「what + 詳しい内容」を使った質問のしかたは、時間を聞くときにも使えます。whenの代わりにwhat timeと質問すれば、正確な時間を聞くことができます。

What time do I have to come? (何時に来ればいいのですか?)

同じことがhowを使った質問にも当てはまります。よくあいさつで使うHow are you?は、相手の状態を聞いているとても一般的な聞き方です。だからこそあいさつに使われるのですが、私たちは年齢を聞くときに使う、

How old are you? は、old (古い、歳をとっている) という意味の語をhowに続けて使うことで、相手の年齢に絞った聞き方ができます。

■ 単語や表現

how の後に詳しい様子や状態を表す語を続けて、より詳しく聞く表現はいろいろあります。

How old ~?	[どのくらい古いか、歳をとっているのかを聞く]
<u>How old</u> is your grand-mother?	(おばあさんはおいくつですか?)
How long ~?	[どのくらい長いのかを聞く]
<u>How long</u> is the river?	(川の長さはどのくらいですか?)
<u>How long</u> is his speech?	(彼のスピーチはどのくらい長いですか?)
How tall ~?	[身長などを聞く]
<u>How tall</u> are you?	(身長はどのくらいですか?)
How high ~?	[物の高さを聞く]
<u>How high</u> is the roof?	(屋根の高さはどのくらいですか?)
How heavy ~?	[どのくらい重いのかを聞く]
<u>How heavy</u> is the rock?	(その岩はどのくらい重いのですか?)
How far ~?	[どのくらい遠いのかを聞く]
<u>How far</u> is the supermarket?	(スーパーはどのくらい遠いのですか?)

このように How + 「様子や状態を表す語」で質問された場合には、

How deep is the snow? (雪はどのくらいの深さですか)

It (=The snow) is 10 centimeters deep.

[数字] [単位] [繰り返す]

まず数字を言い、その後にその数字とともに使う単位を言い、最後に質問に使われた様子や状態を表す語を繰り返します。

■ 英語のきまり

How many ~? (どのくらいの数なのかを聞く)

How much ~? (どのくらいの量なのかを聞く)

英語には数えられる物と数えられない物があることは学習しました。たとえば、book、desk、apple、dog などは数えることができる物に英語では分類されます。このような数えられる物の数を聞くときには、How many ~? を使って聞きます。

How many books did you read? (本を何冊読みましたか?)

How many ~? は、2つ以上あることを前提とした聞き方ですので、必ず2つ以上であることを示す s を付けて聞きます。

一方、英語には water、tea、paper、money のように数えられない物として分類される物もあります。この場合には、How much ~? を使って質問します。

How much water do we need a day? (1日あたりどのくらいの水が必要ですか?)

このように聞かれたら、

We need a lot of water a day. (1日にたくさんの水が必要です?)

We need 10 liters of water a day. (1日に10リットルの水が必要です)

We need 3 bottles of water a day. (1日にボトル3本分の水が必要です)

などと答えてもいいでしょう。いずれにしろ、waters とはならない点に注意しましょう。

column

単語を発音してみよう ⑧

cap	cab
bat	bad
back	bag

どのaも同じように発音します。アを言うときの口の形をし、エと言うように発音するとうまく発音できます。ちょうどアとエの間のような音です。英語ではこの音はよく出てきますし、このaの部分を強く読むことも多いのでしっかりと聞き分けられ、発音できるようにしましょう。

aの音の長さが違うことに気がついたでしょうか。面白いことに、左側の語のaよりも右側の語のaのほうがどれも長く発音されます。自分で発音するときにも、p、t、k、の前のaは若干短めに、b、d、g、の前のaは、長めに発音すると英語らしく聞こえます。

同じような音にuをアと発音する音が英語には多くあります。

cap	cup
bat	but
back	buck

左側を「カップ、バット、バック」と、右側を「クップ、ブット、ブック」と発音したくなりますが、あえてカタカナで書き表せば「キャップ、ベアット、ベアック」「カッパ、バット、バック」でしょう。右側のuは日本語のアを息を少し強く出して言う感じの発音です。

